

# 施工編

# 計画

## 1. 工事の流れ

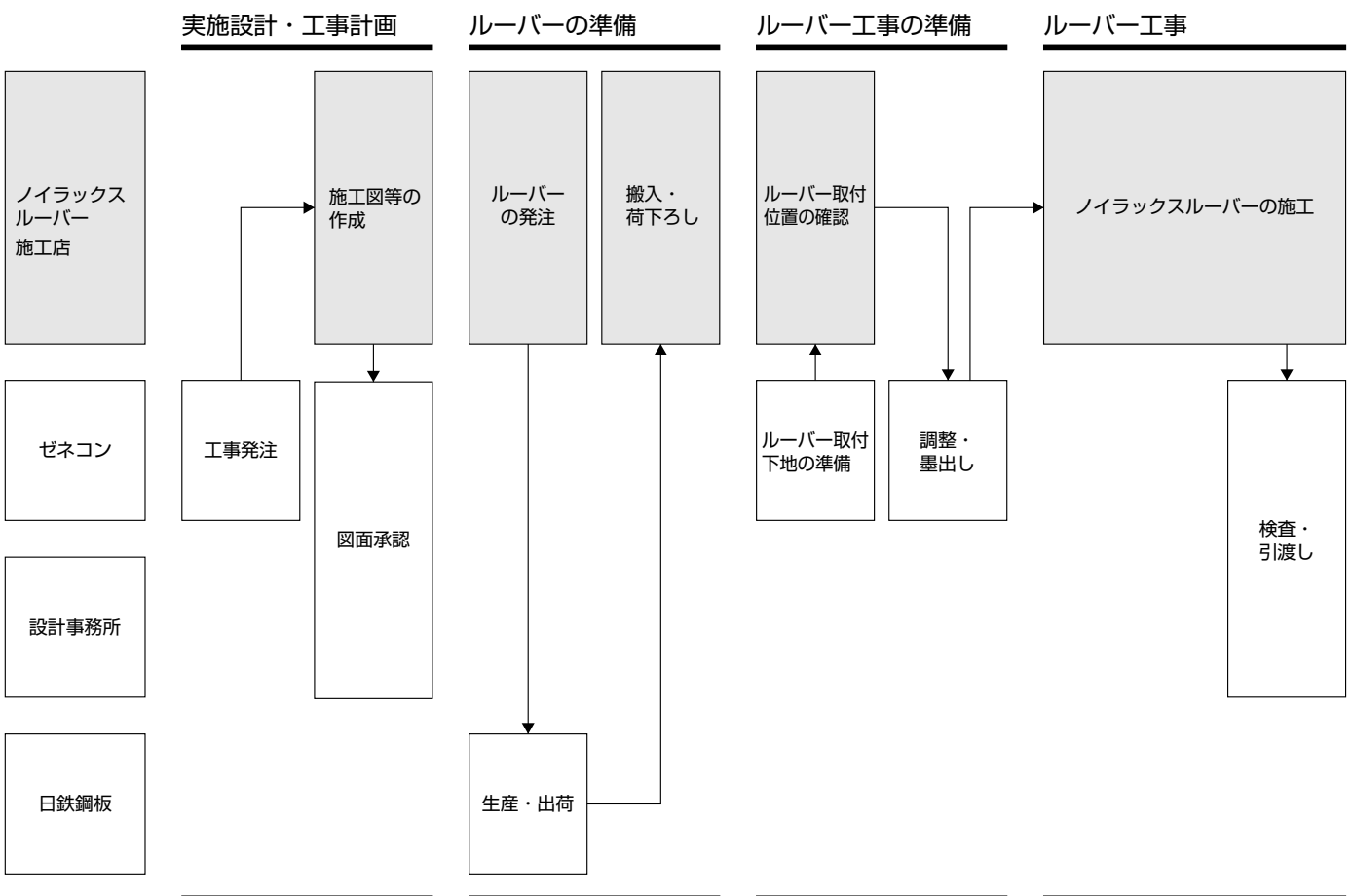
### ノイラックスルーバー工事

建物をつくりあげるには、種々の工事の積み上げが必要となります。さらに、それらが秩序だって運営されなければなりません。複雑に込み入った建築工事現場において、無理なく合理的に工事を運営していくためには、外装工事の予定と内容を知っておくだけでなく、関連する工事の内容と進行状況をよく理解して、

あらかじめ対策を立てておく必要があります。

また、現場の取合い面から、ノイラックスルーバーの施工に部分的な変更の必要が生じたり、関連工事との調整が必要になった場合など、現場での変更は関連工事との連絡が重要になりますから、必ず設計事務所、ゼネコンの承認を得ることが大切です。

### ノイラックスルーバー 工事の流れ



### (1) 施工計画・施工図の作成

受注した施工店では設計図書をもとに、工事実施に必要な施工図や工事計画などを作成し、ゼネコン・設計事務所に提出します。

割付図: 元請けの割付に沿って具体的に割り付ける。

納まり図: 取合いの不明な部分は納まり図をつくり、確認する。

数量表: ルーバーの寸法・種類・数量を拾う。

工事計画: 施工に必要な日程、関連工事との取合いなどについて計画。

## (2)ルーバーの発注

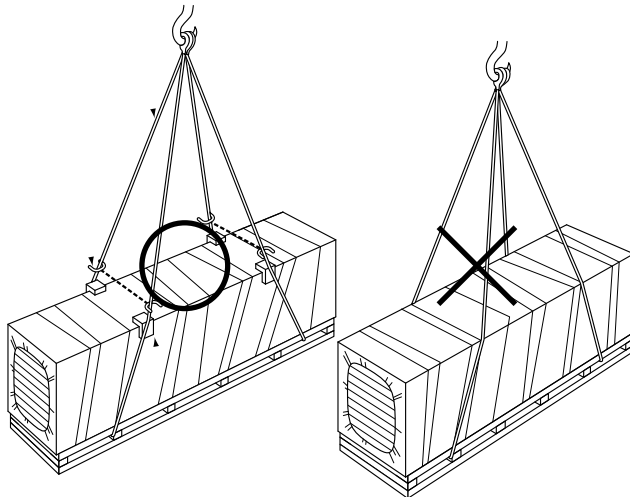
工事に必要なパネル、純正部材の種類、寸法、色、数量などを明記して、販売店に発注して下さい。

## (3)搬入・荷下ろし

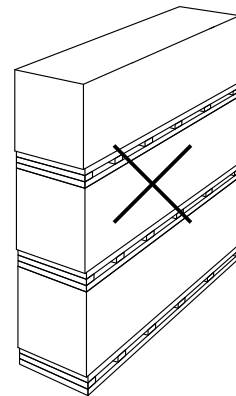
工事工程に従って、パネルを現場に搬入します。  
パネルは車上渡しなので、クレーンは受け取り側でご用意下さい。  
搬入されたパネルの種類、寸法、色、数量を輸送傷の有無と併せて  
ただちにチェックをして下さい。  
荷下ろしには、吊り上げ用保護具およびナイロンスリングを用意し  
て、ナイロンスリングが直接製品に当たらないように、吊り上げ用保  
護具の上から吊り上げて下さい。  
仮置きする場合は十分な養生をして下さい。

### ※取扱注意事項

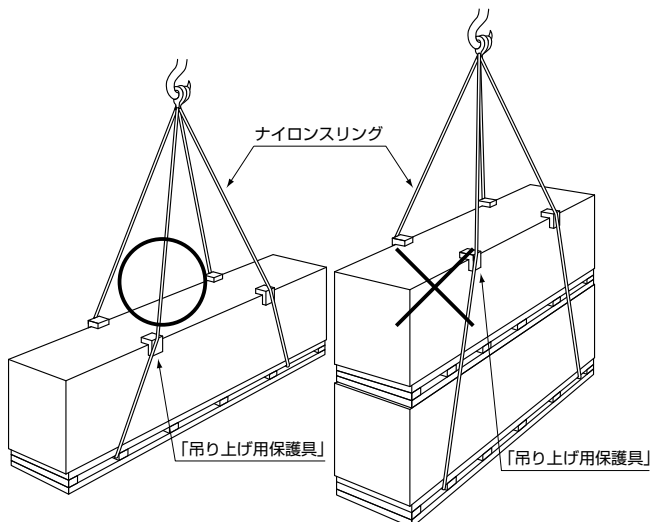
①ナイロンスリングが直接製品に当たらないようにして下さい。



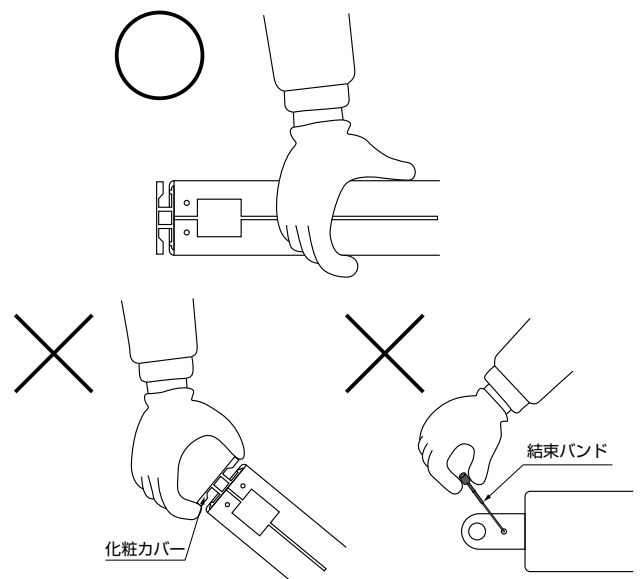
③ 3段積みはやめて下さい。



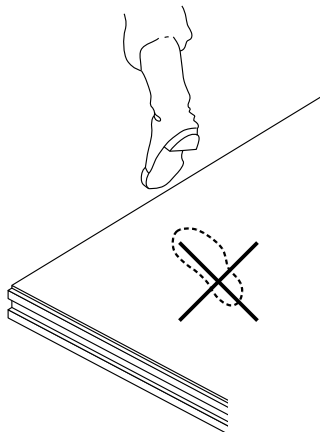
②製品の2段吊りはやめて下さい。



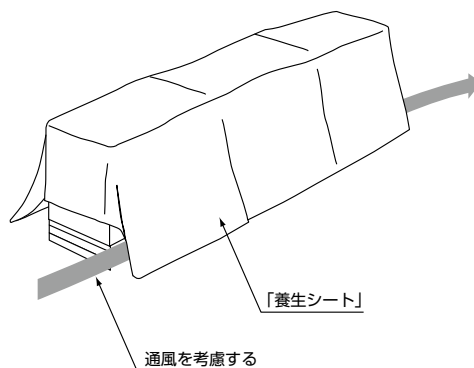
④長辺の化粧カバー（アルミ材）、短辺のLジョイントに付いている結束バンドを持たないで下さい。



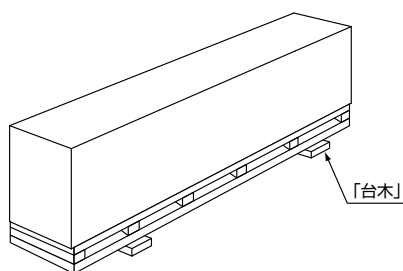
⑤砂や泥のついた履き物でパネルなどを踏まないで下さい。



⑦仮置きした梱包および役物副資材は、養生シートを掛けて保管して下さい。この場合、通風等を考慮して下さい。



⑥地面に不陸がある場合は、台木を敷いて水平な状態で保管して下さい。



⚠ナイロンスリングの選定にあたっては梱包荷重に見合うものを選定して下さい。

⚠パネルの表面には保護フィルムが貼り付けてあります。保護フィルムは施工時か施工直後に除去して下さい。

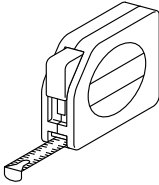
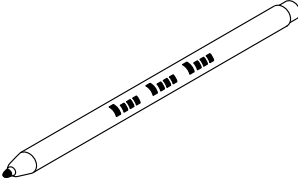
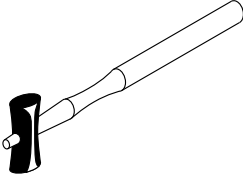
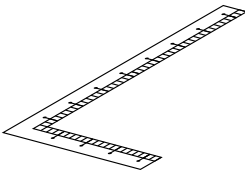
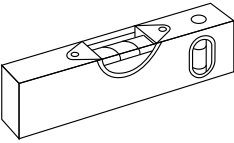
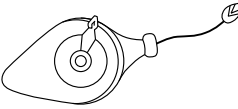
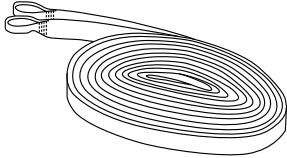
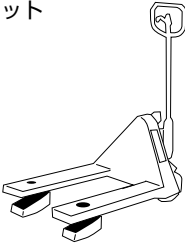
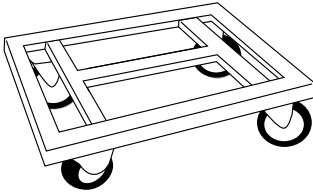
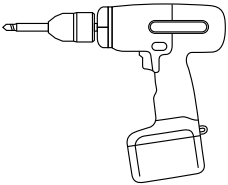
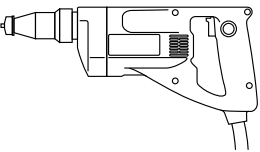
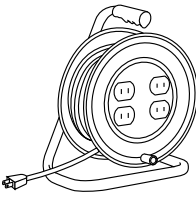
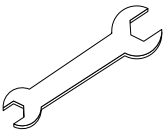
⚠保護フィルムには静電気が発生していることがありますので、取り除く際には手袋をはめる等、注意して下さい。

⚠除去した梱包資材や保護フィルムが風で飛散しないようとりまとめて廃棄して下さい。

## 2. 工具の準備

■ルーバー施工前に以下の工具箱(市販品および専用工具/治具等)を現場の状況に合わせて準備して下さい。

### ●市販品

巻尺 	フェルトペン 	金槌 
曲尺 	水準器 	チョークライン 
ナイロンスリング 	ハンドパレット 	台車 
電動ドリル 	電動スクリュードライバー 	電気コード 
スパナ (薄型) 	その他 ウィンチ レーザー墨出し器 トルクレンチ プライヤー カッター	

## 3.安全作業の確認

### (1)作業一般

■高所作業においては、特に踏み抜きや滑落しないように注意して下さい。労働安全関連法規を厳守するとともに、安全作業の徹底に努めて下さい。

#### ①作業一般

正しい服装と保護具（ヘルメット・命綱など）を着装して下さい。

#### ②安全規則

毎日のミーティングで作業規律の徹底と健康状態の維持管理および安全についての注意事項の確認をして下さい。

#### ③施工計画

施工に際してゼネコンと事前に十分連絡を取り合い、特に建物内部で作業や操業をしている場合には、作業状況について緊密な連絡を取って下さい。

#### ④高所作業の安全対策

敷板（足場板）および滑落防止用ストッパー・安全ネットなどの設置により屋上での作業や材料置き場の安全に努めて下さい。また、水に濡れた鋼板上を歩行する場合、滑落事故に注意して下さい。

#### ⑤安全操作と落下防止

電動工具や一般工具の取り扱いに際しては、漏電・感電防止等、安全操作を心がけて下さい。また、それらの工具の落下防止にも十分注意して下さい。

#### ⑥災害防止対策

整理・整頓の徹底、玉掛け作業の安全確保、標識の重視などにより災害の防止を心がけて下さい。

#### ⑦気象条件の対策

降雨、降雪、強風などの気象の変化による事前の処置を心がけて下さい。

# 施工

## 1. ノイラックスルーバーの施工

### (1) 墨出し

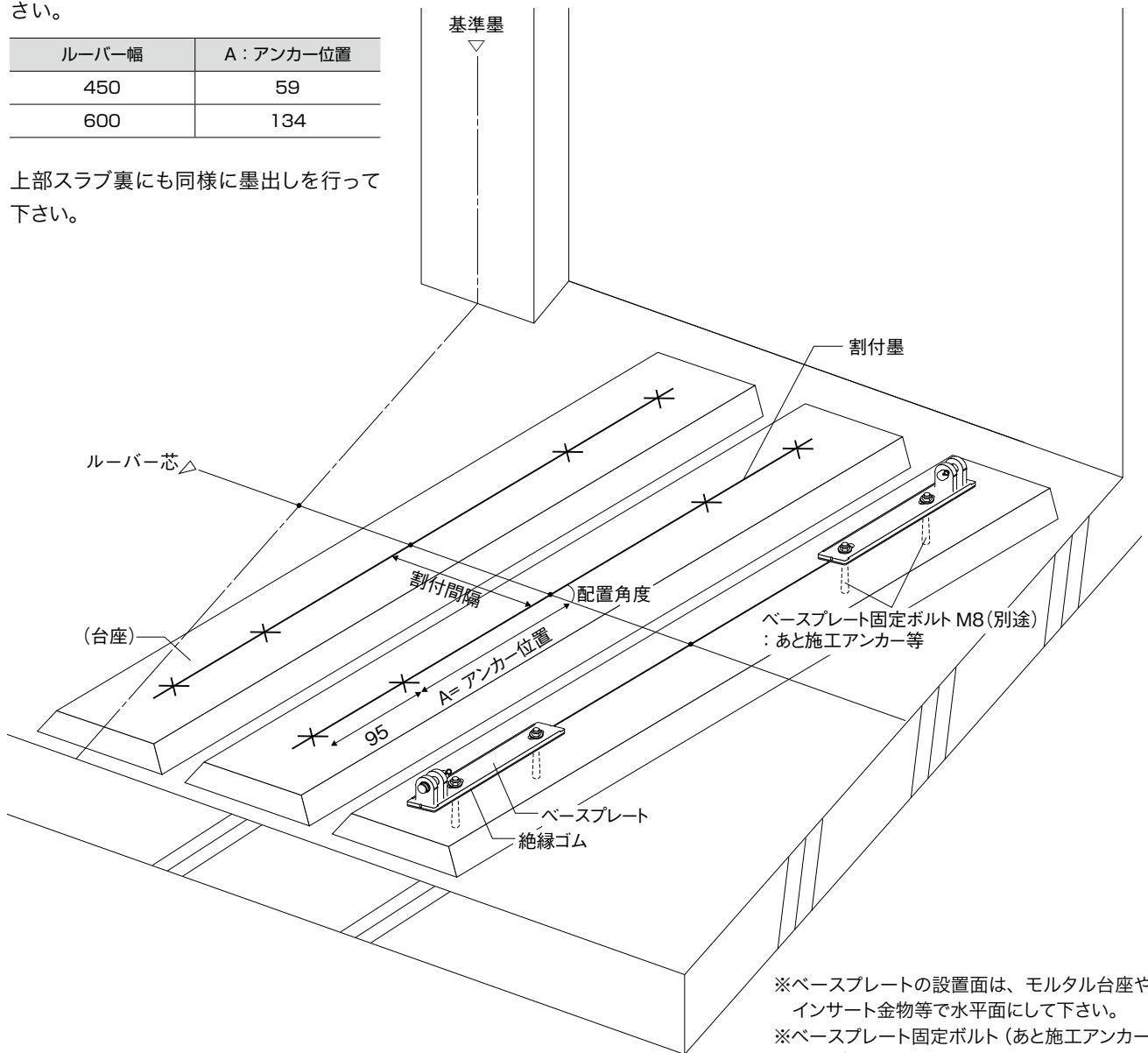
基準墨に従って、ルーバーの割付墨をスラブに対して正確に打って下さい。  
基準墨はゼネコン担当者に依頼して下さい。

ルーバー幅	A: アンカー位置
450	59
600	134

上部スラブ裏にも同様に墨出しを行って下さい。

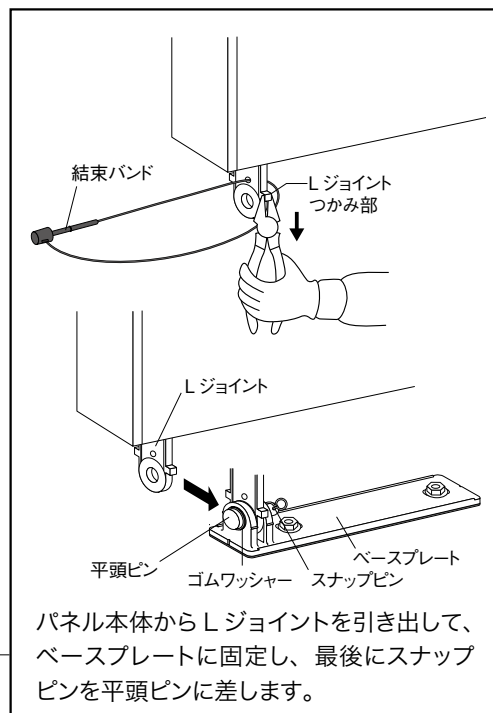
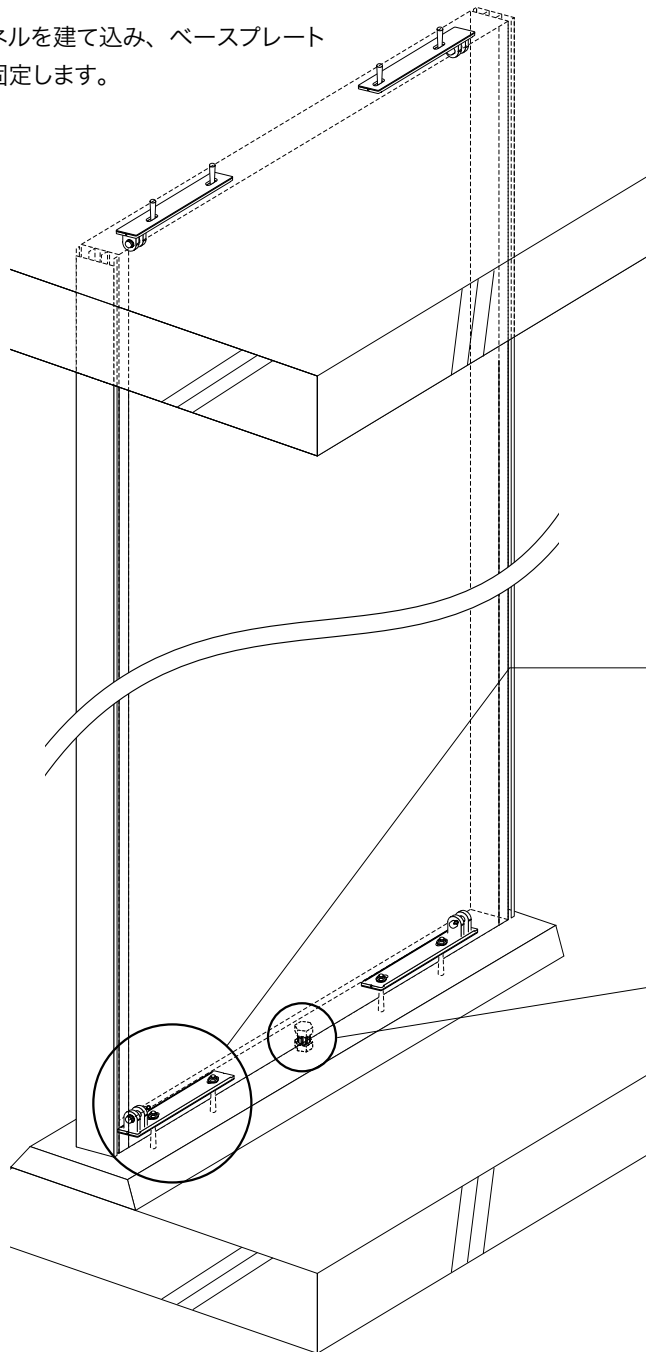
### (2) ベースプレートの取り付け

ベースプレートを固定ボルト（あと施工アンカー等）で、スラブに取り付けます。



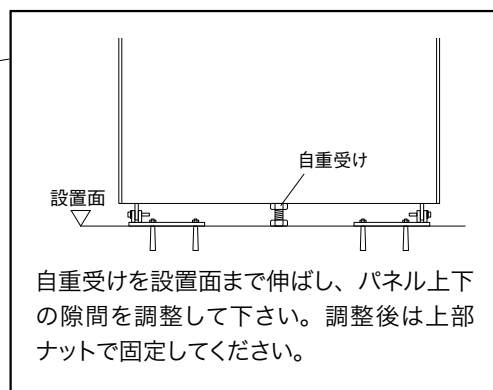
### (3) パネルの取り付け

パネルを建て込み、ベースプレートに固定します。



パネル本体からLジョイントを引き出して、ベースプレートに固定し、最後にスナップピンを平頭ピンに差します。

※Lジョイントには、作業補助用に結束バンドを取り付けています。作業後はハサミ・カッター等を使用して切断して下さい。尚、工具で作業をする場合には、Lジョイントの掴み部をご利用ください。



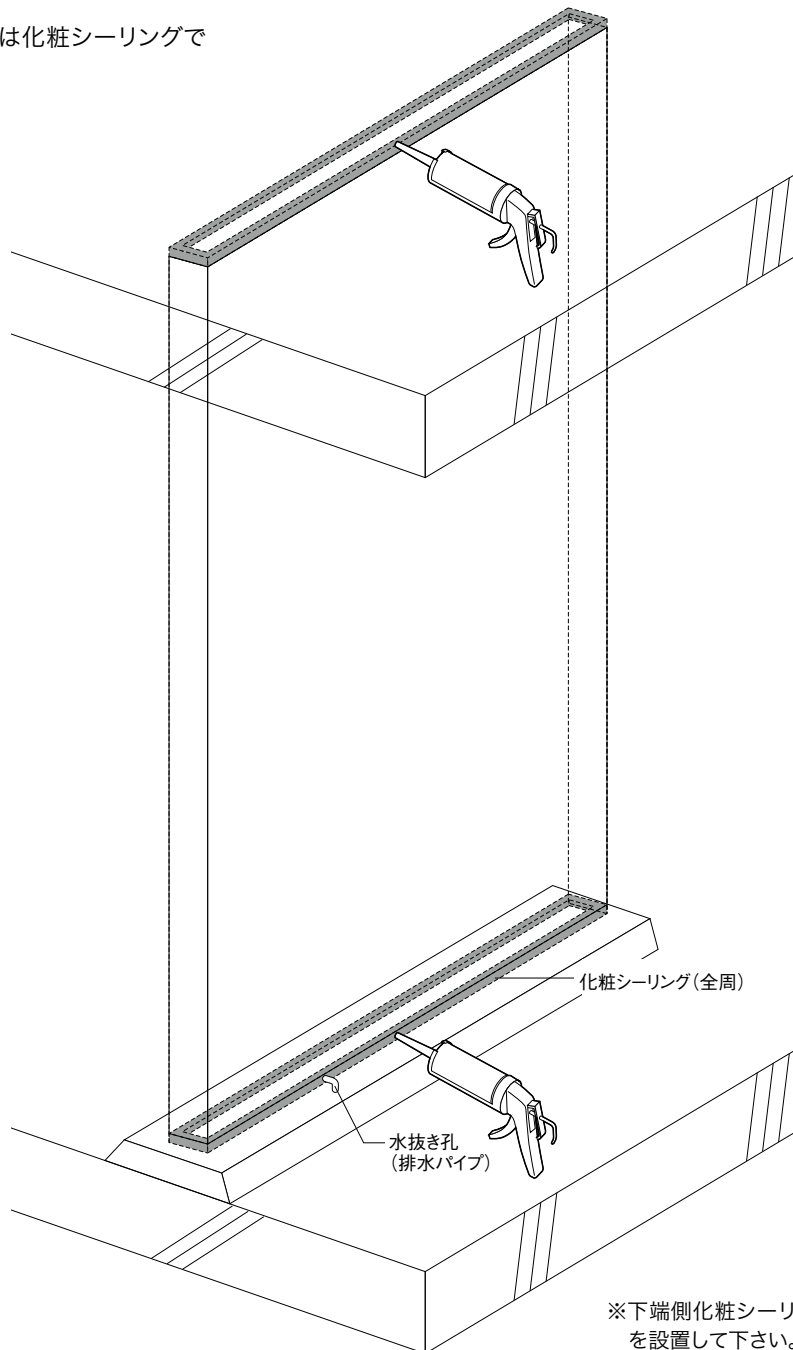
自重受けを設置面まで伸ばし、パネル上下の隙間を調整して下さい。調整後は上部ナットで固定してください。

※自重受け、Lジョイント  
 出入調整可能範囲: 基準位置-0/+10mm



#### (4)シーリング施工

パネルとスラブの隙間は化粧シーリングで仕上げます。



## 2. 施工後の注意

---

### キズの補修について

パネルの表面材は耐久性の高い仕様になっていますが、施工中に生じたキズが原因となって経年で塗膜の剥離や赤錆につながります。引き渡し後でもキズが発見されたら必ず補修して下さい。補修方法については以下のように考えて下さい。

- 塗装の表面にキズがついた場合、布などで油、ゴミなどを完全に除去し、表面材と同色の補修塗料でタッチアップ補修を行って下さい。
- パネルは焼付塗装ですが、補修塗料は常温乾燥のため、色相及び性能が異なります。そのため、補修は筆先で最小範囲に行ってください。スプレーによる補修は不適當です。

### 汚れの清掃方法について

清掃は汚れの種類によって方法が異なります。以下のように考えて下さい。

- 埃、土埃の清掃には、家庭用中性洗剤を布にしみ込ませて拭き取って下さい。汚れ除去後は、必ず水洗いをして下さい。
- 油汚れやペイント系の汚れ及びもらい錆については当社までご相談下さい。なお、シンナー、ベンジンなどの溶剤による清掃は絶対に行わないで下さい。



# お願いとご注意

## 1) お願い

- このカタログの内容は、2023年2月現在のものです。
- 本カタログに記載された商品各種データは、商品の代表特性や性能を説明するものであり、保証値ではありません。これらの情報は今後予告なしに変更する場合がありますので、最新の情報につきましては各支店・営業所までお問い合わせ下さい。
- 本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮下さい。
- 色・形状・厚さ・幅等、豊富なバリエーションを取り揃えていますが、数量によっては納期がかかる場合がありますので、ご購入時に営業担当者にご相談下さい。
- 別途カタログも取り揃えていますのでご参照下さい。
- ノイラックス ルーバー<sup>®</sup>は、商標登録並びに製造特許を数多く取得しています。類似品にご注意下さい。

## 2) 使用上のご注意

正しく施工していただくために、下記のようにお守りいただく内容の種類を絵表示で区分して説明いたします。

 <b>禁止</b>	●安全上行ってはいけない「禁止」の内容です。
 <b>注意</b>	●誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。

### ⚠ 1. 商品の納入

商品は車上渡しです。荷下ろしについてはお客様にてお手配下さい。

### ⊘ 2. 運搬

商品の運搬や施工現場での搬入の際には、ナイロンスリングを直接商品にかけないで下さい。

### ⚠ 3. 保管

商品は梱包したままの状態でご保管下さい。直ちに作業しない場合で建築現場に野積み状態にする場合は、地面に直接置かずシートを敷き、台木に乗せ、防水シートを掛けて長期間(7日以上)にならないようご注意ください。雨水にぬれた場合は速やかに開梱して乾燥させて下さい。

### ⚠ 4. 取り扱い方法

商品を地面や商品の上で引きずったりすると塗膜面に目に見えない擦りキズが発生します。美観を損なうだけでなく、耐久性にも影響しますので十分取り扱いにはご注意ください。

### ⚠ 5. 保護フィルムの除去について

パネルの表面には保護フィルムが貼り付けてあります。長時間放置しますと除去が困難になりますので施工後1ヶ月以内に除去して下さい。保護フィルムには静電気が帯電しているおそれがありますので開梱後、パネルの取り扱い及び保護フィルム除去にはご注意ください。

### ⚠ 6. 塗膜面の補修

塗膜面に擦りキズなどがついた場合、専用の補修塗料により補修して下さい。但し、補修塗料で補修した場合は元の塗膜面と全く同一にはなりませんので最小範囲でご使用下さい。広範囲にわたる補修は専門業者へご相談下さい。なお、海岸など腐食の恐れのある地域では、露出切断端面の補修をお勧めいたします。

### ⊘ 7. 取り付け部材・金具

当社の純正部材または当社指定の取り付け金具を使用して下さい。他の部材や誤った工法での不具合については責任を負いかねます。

### ⚠ 8. 施工

高所作業においては特に踏み抜きや滑落がないように注意して下さい。労働安全関連法規を厳守するとともに安全作業の徹底に努めて下さい。

### (1) 安全装備

正しい服装と保護具(ヘルメット・安全帯など)の着装。

### (2) 安全規則

毎日のミーティングで作業規律の徹底と健康状態の維持管理及び安全についての注意事項の確認。

### (3) 施工計画

施工に際してゼネコンと事前に十分連絡を取り合い、特に建物内部で作業や操業をしている場合には、作業状況について緊密な連絡を取って下さい。

### (4) 高所作業の安全対策

敷板(足場板)及び滑落防止用ストッパーなどの設置による屋上での作業や材料置き場の安全確保をして下さい。安全ネットを設置して下さい。

### (5) 安全操作と落下防止

電動工具や一般工具の取り扱いに際しては漏電・感電防止等、安全操作を心がけて下さい。またそれらの工具の落下防止にも十分注意して下さい。

### (6) 災害防止対策

整理・整頓の徹底、玉掛け作業の安全確保、標識の重視などにより災害の防止を心がけて下さい。

### (7) 気象条件の対策

降雨、降雪、強風などの気象の変化による事前の処置を心がけて下さい。

### ⚠ 9. シーリング材

塗装鋼板の種類に適合するシーリング材をお選び下さい。通常の場合、変成シリコン系の製品をお勧めいたします。また、ご使用に際してはプライマー(下塗り材)の必要な物もありますので、塗装鋼板の樹脂名を提示の上、シーリング材メーカーにお問い合わせ下さい。なお、設計/施工資料に推奨のシーリング材名を記載しております。

### ⚠ 10. 切粉・鉄釘などの除去

壁・屋根面に鉄材の切粉・切り屑や鉄釘などを放置しますと塗装鋼板の塗膜上で赤錆が発生し、もらい錆の原因になり腐食を早めますので、発見後、直ちに除去し水洗いして下さい。

### ⚠ 11. 化学・電食作用

コンクリートからのアルカリ溶液や常時湿った木材との接触は避けて下さい。ステンレス・銅・鉛等の異種金属との接触による電食にご注意下さい。接触せざるをえない場合はシーリング、ゴムシート等で絶縁して下さい。